



創立30周年
記念講演会報告

伊勢みずほさん講演会について

10月15日（土）、新潟県立生涯学習推進センターホールでフリーアナウンサーの伊勢みずほ様をお迎えし、県立生涯学習推進センター創立30周年記念講演会「話すことは放すこと～キャンサーギフトという生き方～」を開催しました。

伊勢様からは、御自身の乳がんとの闘病経験を基に、「今のほうが幸せ。がんになれば感じられないことがたくさんあって、幸せを感じる感度があがった。」という内容をお話いただきました。

はじめのうちは、がんであることを周囲に伝えられず、本当は具合が悪いのにウソをつかないといけない、人にも会わないでいる生活は大変辛かったそうです。しかし7年前、自分ががんであることを公表したことで、多くの方々から応援の手紙をもらい、もっと早くSOSを出せたら、もっと早く助けてもらえたと思ったそうです。確かに、がんであることを言いにくいこと。しかし、辛いことを伝え弱音を吐くことで力を借りて乗り越えていける。「話せば、つらさから放たれる」ということを、キャンサーギフト（がんからのおくりもの）として身をもって学ぶことができたそうです。

講演会の参加者からは、「伊勢さんの笑顔に力づけられました」「がんとの向き合い方が大変参考になりました」「素晴らしい人生観を得られました」等の感想が聞かれました。

伊勢様は「学ぶことは生きること」「生きることは学ぶこと」という言葉を講演会の中で話されました。人生100年時代を想定した人生設計を考える中で、生きがいをもって、自分らしい豊かな人生を送るために、学び続けることの大切さや素晴らしさをあらためて感じる事ができた講演会となりました。



いきいき県民カレッジ 表彰式

創立30周年記念講演会の前に、「いきいき県民カレッジ」学長賞・表彰式を行いました。今年度は学長賞を受賞した41名のうち8名の方々にお越しいただき、学長である県知事の名が入った賞状をお渡しするとともに、受賞にあたって以下のようなお話を受賞者の方からいただきました。

受講手帳を利用して学習を積み重ねた方からは、学びの中での人と人とのつながりの大切さや一生涯学ぶ大切さを語っていただきました。

活用手帳を利用して自分の力を地域に役立ててきた方からは、地域貢献の大切さ、支えの大切さを語っていただきました。

いきいき県民カレッジは県内の生涯学習を推進するとともに、学びを社会に活かすことを目的としています。来年度も学長賞をはじめとした奨励証を目標や励みに、ぜひご参加ください。



同日開催の30周年事業イベントブースも大盛況！9つのイベントブースを開設し、延べ454人の方からご参加いただきました。



いきいき県民カレッジ

いきいき県民カレッジ講座は、**県内在住の方ならどなたでも受講できます**。「自分に合った講座はあるのか？」を調べるには、次の二つの方法があります。

方法1：いきいき県民カレッジ冊子で調べる

【特徴】

- ・春と秋の年二回の発行
- ・9つの分野に分けて情報を掲載
- ・公民館等で冊子を入手可能



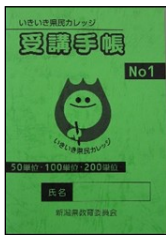
方法2：「ラ・ラ・ネット」で検索する

【特徴】

- ・インターネットを使った情報提供
- ・情報は随時更新
- ・条件を指定しての検索が可能



また、学びを記録していく受講手帳があります。講座を1時間受講するごとに一つスタンプ（一単位認定）が押されます。規定された数のスタンプを集め、申請していただくことで奨励証が授与されます。奨励証はこれまでに延べ13,979名の方が受賞されており、最高賞である学長賞は821名の方が受賞されています。（令和4年10月現在）

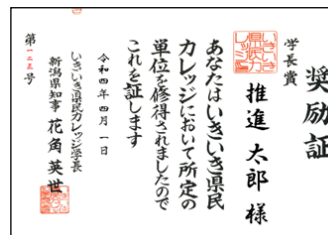


【受講手帳】



チューリップ賞	50 単位↓
雪椿賞	100 単位↓
朱鷺賞	200 単位↓
越佐賞	300 単位↓
日本海賞	400 単位↓
学長賞	500 単位↓

【各賞と修得単位数】



【奨励証】



成果活用の証を記録していく【活用手帳】もご用意しています。

推進センター上映会のお知らせ（入場無料、要予約、カレッジ講座）

12月の上映会

8日(木) 13:30～

疎開した40万冊の図書

【2013年/DVD/102分】 2単位認定

15日(木)・25日(日) 13:30～

素晴らしき哉、人生！

【1946年/アメリカ/130分】 2単位認定



1月の上映会

12日(木) 13:30～

越後のしな布【1987年/16mm/34分/ドキュメンタリー】

匠の世界 染織【2016年/DVD/52分/ドキュメンタリー】

19日(木)・22日(日) 13:30～

にいがた偉人伝④

【2017年/DVD/130分/BSN新潟放送】 2単位認定



12日は2本で2単位認定

LLPC(Lifelong Learning Promotion Center) book (推進センター所長)

学びの成果を活用し、多くの人が活躍できる社会へ

生涯学習の理念に、学習成果が適切に活かされ評価される社会の実現があります。せっかく学んだのだから、個人の中で終わらせるのではなく、学習（生活経験や社会経験等も含む）で得た知識や技能等の成果を、社会の様々な場面で活用し、評価を受けませんか？という問い掛けです。

当センターでは、緑色や白色の「受講手帳」で学んだ成果を、茶色の「活用手帳」で活かし、「奨励証」で評価される「いきいき県民カレッジ」のシステム体系化を目指しています。実際に多くの方が、この「奨励証」を励みに学び続けられています。

そして、実際にどれくらいの県民の皆さんが学んだ成果を活かしているのかを「活用率（学んだことを活用しましたか?）」や「普及・波及率（学んだことを何人に伝えましたか?）」という指標でデータを蓄積します。それと同時に、「活用手帳」の実施機関数や「奨励証」の交付数と併せ、生涯学習理念の実現度合を評価していこうと考えています。

ぜひこの機会に、皆様も学習の成果を活用してみたいかがでしょうか？

お勧めです！！

